

まちづくり戦略（第2期豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略）に係る評価について

「第6次豊橋市総合計画」において、人口減少対策を重点的・戦略的に進める「まちづくり戦略」を定め、将来に向かって「人口減少に歯止め」をかけるため、以下の4つの戦略で、さまざまな施策を実施しています。

- 1 活力みなぎる『しごとづくり』
2 選ばれ集う『ひとの流れづくり』
3 笑顔あふれる『子育て・教育環境づくり』
4 持続可能で暮らしやすい『都市空間づくり』

1. 令和4年度の主な取り組み並びに数値目標及び重要業績評価指標（KPI）に対する分析別紙のとおり

「別紙の見方」 下線部 太枠に関する市の取り組み 太枠 すすんでいない取り組みや 市民参画により取り組みを推進できる項目

1 活力みなぎる『しごとづくり』

地域の力を結集し、地域産業の活性化に向け、魅力的な働く場の創出や新たな投資を生み出す好循環を確立します。

1. 令和4年度の主な取り組み

(1) 人材力の強化と事業承継への支援

- 農業者を対象とした先端農業を習得できる研修などに助成し、次世代農業人材の確保・育成を図った。
- 農業者が農作業に安事する際の課題等を知り、今後の農機連携の推進に活用するため現地見学会を実施した。
- 中小企業の教育のため、情報関連技術や生産関連技術等に関する研修を実施した。
- 東三河地域で開催される「経営研修会」に関するポータルサイトの運営や若手企業人材の交流会の開催などを支援した。
- とよはし産業人材育成センターを開校し、地域産業を支える人材を育成できる環境の整備を進めた。

(2) 新ビジネスの創出と経営革新

- 農業経営の高度化による、産地の生産性や収益力の向上を図るため、次世代施設園芸受取県拠点の管理運営及び豊橋市産地パワーアップ計画に合わせた取り組みを行う農業者の施設整備又は機械導入を支援した。
- 業務転換、ECサイト構築、海外展開など新たな市場を開拓するための支援を行った。
- 中小企業者を支援
- 全国の農業系スタートアップを支援
- 事業化を目指すスリ、連携を促進し、市内飲食店と農産物で地産地消
- 働き盛り世代の働きやすさを高めるための野鳥観察啓発活動を実施した。

(3) 産業の魅力発信と誘致

- 豊橋新城スマートインターチェンジ（仮称）の開設計画地において、新たな産業用地の確保に向けた調査を行った。
- 企業の進出促進と進出防止を図るため、市内や近隣市を中心とした企業訪問や立地企業情報交換会などを実施し、企業誘致活動を進めたほか、サテライトオフィスの設置支援を行った。
- 中小企業の人材不足解消のため、働きやすい環境づくりの重要性を啓発するセミナーの開催や、中小企業が行う就職サイト掲載及び就職情報掲載への費用助成など、雇用の促進と定着につながる支援を実施した。
- 女性と若者の市内企業への就業と定着を図るために、女性の雇用定着に必要な環境整備を支援したほか、学生を対象とした合同企業説明会や面接体験会などを行い、若者と企業の出合いの場を創出した。
- 三河産肉会による新たなインセンティブ制度の実施などを通じて、完成輸入自動車の台数・金額ともに30年連続して全国1位を維持した。

下線部 太枠に関する分析

左側 令和4年度に実施したことを記載しています。

2. 数値目標及び重要業績評価指標（KPI）に対する分析

資料 2（別紙）

Table with 2 main rows: 新規創業者数 (累計) and 女性就業者数. Columns include 基準値 (R1), 参考値 (R2), R3, R4, R5, R6, R7, and 目標値 (R7).

- 新規創業者数（累計）は1,843人で、半年度の新規創業者数は令和2年度から令和3年度は314人の増加に対して、令和3年度から令和4年度にかけては382人の増加となり、雇用に数を伸ばしている。
- 女性就業者数は令和3年度の50,028人から0.3%減少し、49,899人となり、依然として基準値より低い状況が続いている。
- 産地パワーアップ計画に合わせた取り組みを行う農業者の施設整備又は機械導入を支援した。
- 業務転換、ECサイト構築、海外展開など新たな市場を開拓するための支援を行った。
- 中小企業者を支援
- 全国の農業系スタートアップを支援
- 事業化を目指すスリ、連携を促進し、市内飲食店と農産物で地産地消
- 働き盛り世代の働きやすさを高めるための野鳥観察啓発活動を実施した。

右側 数値目標と現状分析を記載しています。

Table with 2 main rows: 就業支援を行った若年者の数 and 新たなビジネスモデル創出に関する事業への参加者数. Columns include 基準値 (R1), R2, R3, R4, R5, R6, R7, and 目標値 (R7).

- 就業支援を行った若年者の数は、令和3年度の506人から34.6%減少し、420人となった。
- 新たなビジネスモデル創出に関する事業への参加者数は、令和3年度の9,598人から1,084人増加し、10,486人となった。
- 産地パワーアップ計画に合わせた取り組みを行う農業者の施設整備又は機械導入を支援した。
- 業務転換、ECサイト構築、海外展開など新たな市場を開拓するための支援を行った。
- 中小企業者を支援
- 全国の農業系スタートアップを支援
- 事業化を目指すスリ、連携を促進し、市内飲食店と農産物で地産地消
- 働き盛り世代の働きやすさを高めるための野鳥観察啓発活動を実施した。

2. 特にご意見をいただきたいこと

- (1) 数値目標やKPIに対して、市民目線による分析や評価
(2) すすんでいない取り組みや市民参画により取り組みを推進できる項目（太枠）に対して、取り組みをすすめるためのご意見